

『園庭』へのこだわり

北欧やドイツでは、園舎を持っていない『森の保育園』がたくさんつくられているそうです。

その理由は、幼児期の「原体験」が子どもの「育ち」にとって、とても重要であるからです。

つまり、子どもにとっての「初めて」は敏感な感覚で多くのことを体感できる貴重な経験であり、また自然の中で遊ぶことで、創造力を育む豊かな体験が積み重ねられ、その後の人格形成に大きく影響すると考えられているからです。

しかしながら、日本では変化しやすい天候や都市部の人口集中などによって、保育施設の近くに北欧のような「森」を求めるには非常に困難です。しかし、幸いなことに TOMORROW COMPANY の各保育園には「夢の園庭」という遊びの環境があります。

だから今、子ども達に必要とされる「運動能力」と「感性」を育むために求められているのは「自然な森」に負けない「園庭」による「遊び環境」を設置することであると、TOMORROW COMPANY は考えています。